

# 新型コロナウイルス禍における 地域対話の継続

宇部興産株式会社 宇部ケミカル工場  
環境安全グループ 環境チーム 岸下 充

## 【目次】

1. 宇部地区地域対話集会とは・・・
2. 地域対話集会の開催方針について
3. Web開催での課題と解決策
4. Web開催の結果
5. Web開催の今後の課題
6. 従来からの課題と改善状況

# 1. 宇部地区地域対話集会とは・・・

宇部地区地域対話集会は2年に一度開催。今回で第16回目。  
対話集会は産学官民が対話・コミュニケーションを行う場となっている

※ 山口西地区（奇数年）と宇部地区（偶数年）を交互に開催  
→対話集会としては毎年開催

- 会員企業4社（セントラル硝子、テクノUMG、宇部藤曲工場、宇部ケミカル工場）
- 日本化学工業協会
- 山口大学教授、大学生・高校生
- 宇部市役所
- 企業の近隣にお住まいの住民
- (NPO)うべ環境コミュニティー

※ 2020度の幹事は 宇部興産 宇部ケミカル工場で11/28(土) 午後に開催

# 【従来の開催方法】 全員が一堂に会して実施

前回（2018年）の例

- ・参加者 53人  
（内訳；産 25人、学 14人 官 1人 民 13人）

・実施事項（12:30～17:00）

1) 幹事企業の工場見学（バスに乗って）

2) **会員企業の活動報告**

3) 講演（日化協、宇部市役所）

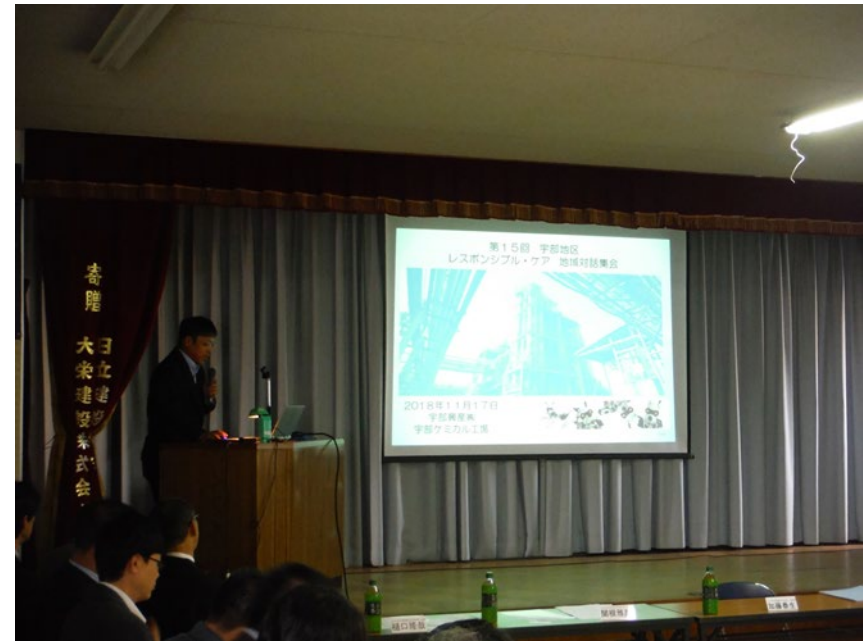
4) グループ討議

2グループに分かれてテーマ討議する

テーマ① 化学物質管理

テーマ② 廃棄物のゼロエミッション

5) **全体討議**（各グループ意見の振かえり）



## 2. 地域対話集会の開催方針について

今回は新型コロナウイルス感染リスクがあるので従来の一堂に会しての開催はできない。

←対話集会での感染発生への責任がある

(対話集会開催により感染者をだしてはならない)



(日化協から情報入手)

全国各地で計画されている対話集会はどうしているか

○地域対話全15地区のうち、本年度は以下9地区で開催予定であったが、検討の結果いずれも**書面開催**または開催を**延期**することとなった。

	地域対話									中規模 地域対話
地区	四日市	山口東	岡山	千葉	大阪	鹿島	兵庫	愛知	新潟北	
代表 幹事	三菱ケミカル	出光興産	クラレ	ADEKA	田岡化学工業	DIC	日鉄ケミカル & マテリアル	三洋化成工業	北興化学工業	
会員 企業数	12社	8社 +非会員5社	10社	20社	4社	15社	16社	14社	3社	
20年度 対応	'21年度へ 延期	書面開催	'21年度へ 延期	書面開催	'21年度へ 延期	'22年度へ 延期	書面開催	書面開催	書面開催	

書面開催：工場近隣自治会向けにRC活動事例等の書面報告と、報告内容等に対する質問/意見収集も行って、それらに対する回答やフォローアップまでを行うことを基本としている。

(※) 中規模地域対話集会：幹事会社の負担を低減するため、比較的小規模で開催する。2018年度に新たに設定。



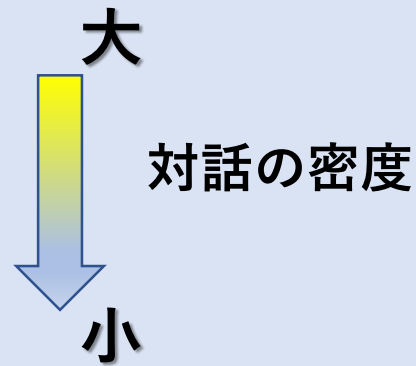
# (宇部地区地域対話集会の開催方針)

他地区同様、「**延期や書面開催**でいいのではないか」という意見もでたが、「**対話**」**継続の重要性**や宇部市や各社の**コロナ対応ルール**を考慮しながら**Web開催で進める**ことに方針を決定。

(コロナの状況によっては、書面開催に切り替えることを前提に)

## 【対話集会の開催方法の選択肢】

- ・ 集合開催
- ・ **Web開催**
- ・ 書面開催
- ・ 延期



### 3. Web開催での課題と解決策

## (課題)

参加者（産・学・官・民）のうち

**「近隣住民の方（民）にどのようにWeb参加してもらうか」**

従来の傾向から住民の参加者は地区の役員（年配の方）が多く、

- ・ 自宅にインターネット環境がない
- ・ 自力でWeb接続できない ことが予想される。



## (解決策)

宇部興産(株) 生産技術センター情報技術Gの協力を得て、

参加者がお住いの地区の「ふれあいセンター会議室」からも参加できる環境を準備する。

※ふれあいセンター会議室には、インターネット環境がないため  
モバイルWiFi、PC、Webカメラ、マイク/スピーカを持ち込み  
会員企業が会場設営する。

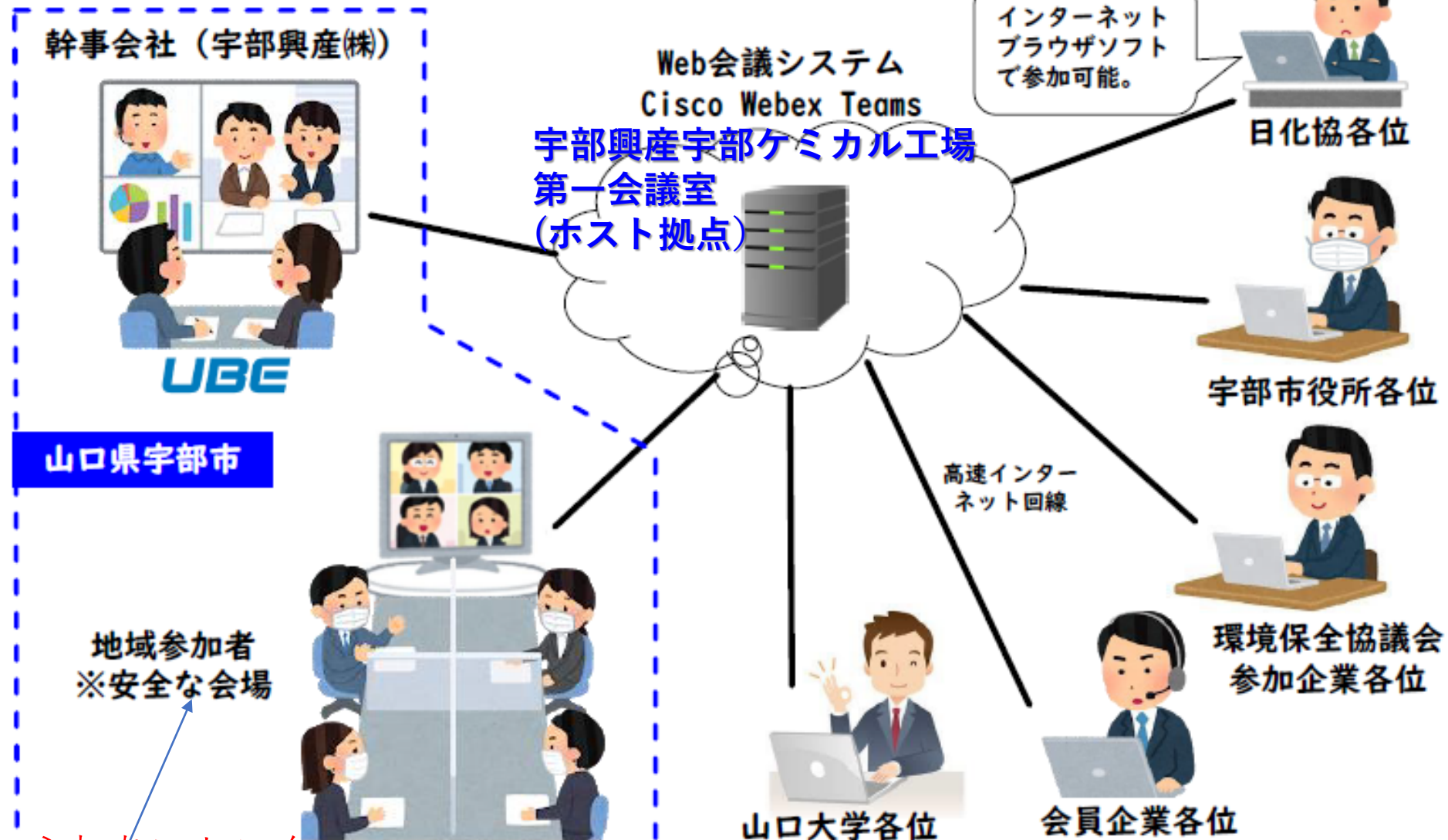
# Web接続拠点のふれあいセンター－会議室 ( ) 内は50%定員

	担当企業
神原 : 世代交流ホール (50人)	セントラル硝子
藤山 : 大ホール (50人)	} 藤曲工場
原 : 1FL会議室 (10人)	
新川 : 第一会議室 (16人)	} 宇部ケミカル工場
鶉の島 : 大会議室 (45人)	

- ※ 宇部市役所市民活動課経由で各ふれあいセンターへ協力要請
- ※ Web接続テスト実施
- ※ 近隣住民への開催案内はふれあいセンター(8か所) から配布  
(従来; NPOからの配布→より多様な参加者が期待できる)
- ※ コロナ感染リスク対策
  - ・ 想定人数に対して十分ひろい会議室の確保 (三密回避)
  - ・ 受付での検温、手指消毒
  - ・ マスク着用、物理的距離の確保、換気など

(開催イメージ)

## 開催方法 (Webオンライン会議)



ふれあいセンター  
5か所を活用

## 4. Web開催の結果

・参加者 64名（前回より20%増加）

・実施事項（12:30～17:00 →13:00～16:30 時間短縮）

（従来）

（今回）

1) 幹事企業の工場見学（バスに乗って） → 中止

2) **会員企業の活動報告** → 同左

3) 講演（日化協、宇部市役所） → 日化協、**うべ環境コミュニティー**

4) **グループ討議** → **テーマ討議（グループ討議断念）**

**2グループに分かれて討議**

**発言機会の減少**

5) **全体討議**

→ テーマ討議まとめ

**各グループ意見の振かえり**

討議の深堀、まとめ

# 開催風景

ふれあいセンター（市民の参加拠点）



**Web接続**



宇部ケミカル工場  
第一会議室（ホスト拠点）





## 5. Web開催の今後の課題

- 従来から実施してきた工場見学は対話集会の目玉の1つであったが中止。  
→動画による代替の可能性検討など
- (コロナリスクがあるにもかかわらず) 開催時間が長い  
→何を重視するかを整理してプログラムの見直し検討
- 従来は2班にわかれたグループ討議から全体で行うテーマ討議になったことから参加者の発言の機会が減少傾向  
→Webでも2班に分けられないか検討
- 音声の大きさ、音声が割れるなど接続拠点によっては不具合があった。  
→箇所ごとの機材スペックをそろえるなど工夫検討

## 6. 従来からの課題と改善状況

1) 企業側の課題；平易な言葉で説明し、市民が正しく理解できるように

(改善状況)

- 「分かり易く」と「正しく理解できるように」の両立が難しい。  
取り組み継続中。
  - ※ 予備知識のない人でもわかるようにする  
⇔ 表現が厳密（正確）でなくなる
  - ※ 今回のNPOうべ環境コミュニティーによるPRTRの解説も  
解決策の1つとしてやってみたがここでも「わかりにくい」  
との意見もあり。やろうとしている方向性は間違っていないが、  
やり方に工夫が必要。

## 2) 市民側の課題；地域対話の初心者レベルアップ

(改善状況)

- 対話集会でグループ討議を行い、発言、直接のコミュニケーションをとる機会の設定をしてきた。※ 今回はWeb開催でこの機能が減少傾向
- PRTRの解説の時間を設け、企業が排出している物質についての理解を促進する取り組みも開始。
- NPO うべ環境コミュニティーのポータルサイト「うべっくる」に地域対話集会についての記事をアップし市民へ内容を発信。

(リンク)

[http://ubekuru.com/blog\\_view.php?id=5621](http://ubekuru.com/blog_view.php?id=5621)

[http://ubekuru.com/blog\\_view.php?id=5622](http://ubekuru.com/blog_view.php?id=5622)

[http://ubekuru.com/blog\\_view.php?id=5623](http://ubekuru.com/blog_view.php?id=5623)

### 3) 共通の課題；市民対企業という対立の構図を解消する

(改善状況)

- ・ 開催を土曜日にする、企業側も私服で参加するなど参加しやすい環境設定
  - ・ 円卓会議を継続、学識経験者（大学教授）によるグループ討議のファシリテーションの導入
  - ・ 参加者の多様性の向上
    - ※ NPO うべ環境コミュニティーの協力により 高校生、大学生の出席者を増やすことに成功
- 今後は子育て世代や、会員以外の企業の参加者を増加させる工夫、仕組みが必要である

## 7.まとめ

新型コロナウイルスのリスクを低減しつつWeb開催により  
宇部地区地域対話集会を開催できた。

(ポイント)

- ※ 参加者の感染対策の徹底
- ※ 地域の拠点である「ふれあいセンター」の活用
- ※ Web開催は今回の経験を活かして更なるレベルアップを図りつつ、  
今後も地域対話継続への寄与ができる



ご清聴ありがとうございました